

令和2年犯罪抑止目標について

1 犯罪抑止目標

目指すもの	安全・安心な滋賀の実現
スローガン	滋賀県は絶対に犯罪を許しません！
犯罪抑止目標	「治安の良さを実感できる社会を目指して！」 ～みんなで取り組もう！アンダー6,000件～ ～特殊詐欺被害（類似窃盗を含む）100件以下、 住宅に侵入する窃盗被害100件以下の再チャレンジ～

◆◆◆ 犯罪抑止目標の設定理由 ◆◆◆

(1) 減少率の維持

令和元年中の認知件数は、6,771件（暫定値）であり、平成30年から比べると15.0%減少し、減少傾向の始まった平成26年から令和元年までの6年間の減少率（H26～R1の平均減少率9.4%）を維持するには、令和2年の認知件数は約6,137件以下に抑えることが必要である。

(2) 人口同規模県（奈良県、長崎県、愛媛県、山口県、沖縄県）との比較

本県の刑法犯認知件数は、年々減少しているものの、全国も同様に年々減少している。人口同規模県の刑法犯認知件数を比較すると、愛媛県に次いで多く、決して安心できる状況ではなく、更なる減少が必要である。

(3) 治安の良さを実感できる滋賀を目指す

県民に関心があり、また不安感情に影響のある犯罪のうち、特殊詐欺被害や住宅に侵入する窃盗被害に関して、具体的な数値目標を設定して、取組の推進を図る。

特殊詐欺被害は、高齢者を中心に依然として高止まり状態であり、1件当たりの被害額が約214万円である。

○ 特殊詐欺被害100件以下

昨年は、前年比+1件と増加に転じるとともに抑止目標が未達成であり、更に類似窃盗被害（キャッシュカードのすり替え等による窃盗被害）が大幅に増加するなど犯行手口が悪質・巧妙化しており、被害に歯止めをかけるため、100件以下に再チャレンジする。

○ 住宅に侵入する窃盗被害100件以下

住宅に侵入する窃盗被害（空き巣、忍込み、居空き）は、県民が不安に感じている割合の高い犯罪であり、前年から大幅に増加するとともに、無施錠による被害の割合が高く、抑止目標が未達成であったことから、100件以下に再チャレンジする。

(4) 分かりやすい数値目標

「安全で安心して暮らせる滋賀の実現」に向け、県民総ぐるみ運動を展開するための努力目標とするためには、誰もが分かりやすい数値（件数）に設定することが必要である。

2 重点対策の指定

(暫定値)

	項 目	設 定 理 由
1	特殊詐欺被害防止	<p>○ 被害額は減少したものの、被害件数が増加傾向にあり、手口が酷似した類似窃盗が大幅に増加した。</p> <p>また、高齢者を中心に被害が後を絶たず、最重点課題として様々な抑止対策の推進が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害件数 108 件(前年比+1 件) ・被害額 約 2 億 3,078 万円(前年比△約 4,520 万円) ・高齢者被害の割合 <ul style="list-style-type: none"> 被害件数 73 件(約 68%) 被害額 約 1 億 5,148 万円(約 66%) ・1 件当たりの被害額約 214 万円 ・類似窃盗(キャッシュカードをすり替える手口) <ul style="list-style-type: none"> 36 件(+28 件)
2	子ども・女性対象犯罪被害防止	<p>○ 子どもや女性に対する性犯罪や声かけ等の犯罪の前兆となる事案は、県民に関心が高く、事件が発生すれば、体感治安に大きく影響する。そのため、関係機関等と連携した対策が必要。</p> <p>※性犯罪(強制性交等、強制わいせつ、痴漢等)</p> <p style="text-align: right;">180 件(前年比△40 件)</p> <p>性犯罪の前兆事案 789 件(前年比+43 件)</p>
3	住宅に侵入する窃盗被害防止	<p>○ 住宅に侵入する窃盗事件は、家人が犯人に遭遇するなど危害を加えられる恐れがあり、県民が不安に感じている割合が高く、更に無施錠での被害率が高いことから、施錠の徹底を呼びかけ、無施錠をなくす取組が必要。</p> <p>※住宅侵入盗 244 件うち無施錠 108 件(約 44%)</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き巣 165 件うち無施錠 55 件(無施錠率 約 33%) 忍込み 65 件うち無施錠 44 件(無施錠率 約 68%) 居空き 14 件うち無施錠 9 件(無施錠率 約 64%)